

巨大開発の押しつけやめよ

住民が「主役」・平和都市にふさわしい街づくり



一般質問をする近松さと子議員 (6月26日)

1988年に都市計画決定されて以来、長年の懸案であった再開発が動き出しています。

しかし、借家人から「組合に借家権を奪われている」との声が複数寄せられています。借家人の営業と生活を奪うような市街地再開発の進め方では、都市再開発法の目的に反するといわねばなりません。

広島市が、都市再開発法を順守するように組合を指導すべきです。



広島駅南口Bブロック再開発ビルのイメージ図

再開発

借家人追い出しはやめよ
広島駅南口
Bブロック

広島市の都市開発・道路事業は、住民の立場で見直しを

道路

「審議打ち切り」許さない！
広島高速5号線
一葉山トンネル

第8回トンネル安全検討委員会が6月23日に行われ、その閉会間際に委員長より、委員会の打ち切りが一方的に告げられました。土質や地下水の調査の解析結果が出され、本格的に科学的検証をしていくという矢先での、一方的な「審議打ち切り」は、許せません。

徹底した科学的検証こそ必要です。

跡地利用

「知の拠点」ではないのか

広島大学跡地については、今年度に土地鑑定を行い、土地交換や民間事業者へ売却し、跡地活用を進めるとの方針です。売れさえすればいいとして、大型商業施設が進出すれば、地元商店街は大打撃を受け、国泰寺交差点の渋滞が予測され、近隣住民に影響をおよぼすことが懸念されます。

旧広大理学部1号館の保存をすすめる「知の拠点」にふさわしい事業にすべきです。



保存活用を求める理学部1号館

道路

進める根拠はあるのか
国道2号観音高架延伸

2期区間(西区観音から中区平野)の整備について、「地元説明が不十分」、「財政非常事態」という理由で、工事は着手していません。また、工事に対して、沿線住民が国と市を相手に起こした騒音訴訟の裁判が、現在も行われています。



被爆地ヒロシマから発信を！

基地拡張・強化やめよ

「危険なオスプレイはいらない」

米国のオスプレイ(事故を起こした欠陥機)12機を、7月24日に岩国基地に強引に配備し、夜間飛行(22時から07時まで)や低空飛行の訓練を全国的に行うとしています。危険きまわらない「オスプレイの配備は認められない」と、被爆地ヒロシマからキッパリとした姿勢を国と米政府に示すべきです。

しかし、松井市長は「国政の場で議論されるべきもの」と消極的な態度です。

これでは、世界に発信する平和力も色あせてしまいかねません。

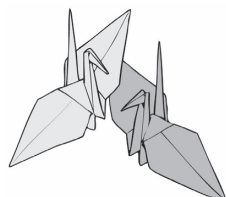


広島ユース・ホテル早期再開に消極的 “迎える平和”を言いながら

指定管理者の取り消しによって4月1日から「休館」になった広島ユース・ホテルは、核兵器廃絶を世界に発信する市の役割を担ってきた重要な施設です。「早期再開を求める」請願の紹介議員になり、本会議に続

き委員会でも一刻も早い再開を実現するため、市の姿勢を正しました。

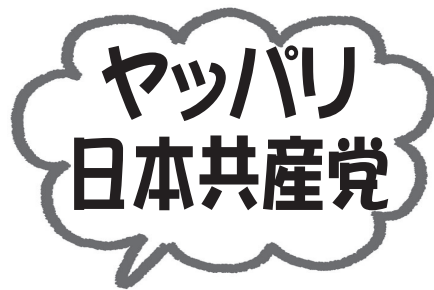
ひきつづき取り組んでいきます。



ひろしま 日本共産党
市議会報告

第80号 2012年7・8月
発行/日本共産党広島市会議員団
〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 (市議会内)
TEL 082(244)0844 FAX 082(244)1567
Eメール k-shigi@jcp-hiro-shigi.jp
日本共産党広島市会議員団の活動を紹介します。
この議会報告は政務調査費を使って作成しています。

他党派とのちがいが鮮明! 市民の痛みがわかる 暮らしの守り手



原発

**原発再稼働やめよ!
再生可能エネルギーの開発普及を!**

原発再稼働をやめ、原発からの速やかな撤退と再生可能エネルギーの開発普及を求める意見書を提出。賛成は共産党市議団を含む4人のみ。本会議で原発問題を取り上げた社民党も「反対」しました。



消費税

密室談合による消費税増税は背信行為

衆議院本会議で強行採決された消費税増税・社会保障一体改革関連法案は、市民の命と暮らしを守る自治体として絶対に見送ることはできず、意見書を提出しましたが賛成少数で否決されました。

総務委員会に付託された「増税に反対する」請願も、共産党以外の反対で「不採択」になりました。



“黒い雨”で一点共同

**「黒い雨地域拡大」
意見書を全会一致採択**

市と県が行なった2008年の調査で判明した「黒い雨」降雨地域の全域を指定するよう、本会議で要求。

それを求める意見書を、全会一致で採択しました。



議会改革

報酬削減は実現したが、議員13人が1,000万円使って海外視察



選挙結果は33票を得た種清議員が議長に、木山議員が副議長となりました。(中原議員3票)

- ① 民主的な議会運営のため、協議を尽くし、安易に数の論理に偏重しない。
- ② 委員会が日常的に活動し、自らがテーマを持って研究する。
- ③ 定例会ごとに市民の声を聞く議会報告会を設け、市民参加を促進。
- ④ 休日・夜間議会の開催を検討。

議長選挙に立候補した保守会派の2人の議員は、政務調査費の不正使用や道州制推進など、議長としての資質に問題があることから、市議団は独自に中原ひろみ議員を議長候補に擁立。所信表明会で議会改革を進める立場から、次の提案をしました。

中原議員、初の女性議長候補として所信表明

議長選挙に立候補した保守会派の2人の議員は、政務調査費の不正使用や道州制推進など、議長としての資質に問題があることから、市議団は独自に中原ひろみ議員を議長候補に擁立。所信表明会で議会改革を進める立場から、次の提案をしました。

費用弁償の廃止・海外視察中止は合意ならず 共産党は廃止・中止を強く要求

議会召集日ごとに、交通費として支給される費用弁償の制度は残されています。8月に、13名の議員が1千万円を超える税金を使って、ヨーロッパに出かける海外視察も多数で承認。市議団は、費用弁償の廃止・海外視察の中止にむけて、市民とともに奮闘します。

市議員報酬を5%削減—やつと合意へ

報酬削減に関して3議案が提出され、「今任期中のみ、月例報酬の5%削減」を賛成多数で可決しました。8月1日から4万3千円/月の報酬削減に。市議団は、市の最高職である局長級レベルの報酬へと見直すことを提案してきたことから、全ての報酬削減議案に賛成しました。これまで議会は、報酬削減の審議はするものの決定はしませんでした。何も決められなかった過去の議会からは、一歩前進です。



小バエ対策 調理室に スポットクーラー整備を約束

小バエが市内で異常発生。給食調理員は、小バエ対策で窓を閉め切り、調理室の温度が急上昇。「熱中症で倒れる寸前」という声を紹介。作業環境の改善を要求。市は今年度中に、約80校(4800万円)にスポットクーラーを整備すると約束しました。

という声を紹介。作業環境の改善を要求。市は今年度中に、約80校(4800万円)にスポットクーラーを整備すると約束しました。

中原ひろみ議員 文教委員会
(☎8900・2269)



村上あつ子議員 建設委員会
(☎261・5116)

●二葉山トンネルの科学的検証が不十分なまま、「トンネル安全検討委員会」の閉会は納得できないと抗議。

●広島駅Bブロック市街地再開発事業で「借家人」の追い出しは法律違反。市は組合に対して指導・監督を徹底するよう求めました。

7月から経済観光環境委員になりました。



近松さと子議員 厚生委員会
(☎221・0708)

民間保育士の待遇改善で待機児解消を
市は待機児解消を目的に民間保育園を整備していますが、保育士が集まらないために4園が定員通り募集できず、今年待機児が135人増えました。保育士の平均勤続年数は、公立17年に対して民間は7年。保育士の処遇改善を求めました。

教職員の多忙化解消へ 長時間勤務の改善を

市立小・中学校では深夜0時過ぎまでの勤務が常態化。月100時間を超える時間外勤務者は、のべ433人。80時間以上は2700人にも。教師の時間外勤務の実態を正確につかみ、足りない正規教員を増やし、長時間勤務の改善を求めました。